

## 第26回区民車座集会（多摩区）意見・提案一覧

No	分野	お名前	テーマ	意見・提案内容
1	安全・安心	<small>ササキ</small> 佐々木さん	自転車の運転マナーについて	2015年6月に改正道路交通法が施行されて以来、自転車にも厳しい罰則が課されるようになった。だが未だに右側を全力で走ったり、傘をさしながら運転をしたり、非常に危ない。そこで、県警や川崎市の警察署と協力してポスターや呼び掛けなどをしてほしい。改正道路交通法を忘れてしまった方もいると思うので、もう一度しっかりと覚えてもらうためにも市長を含め対策をしてほしい。
2		<small>スズキ</small> 鈴木さん	環境づくりについて	私は、向ヶ丘遊園駅や登戸駅の周辺をよく利用しているのですが、たまにタバコの吸い殻や、ゴミのポイ捨てなどを見かけることがあります。川崎市は過ごしやすい街だと思うので、その点が残念です。道が綺麗になれば、更に過ごしやすい街になると思います。
3		<small>タナカ</small> 田中さん	もし川崎市で震災に遭ったら	私は明治大学生田キャンパスに通う学生です。今まであまり気にしていなかったのですが、公務員という職業に興味を持ち始めインターンシップに参加した事で、震災時の対応が気になるようになりました。例えば熊本地震発生後、他県から沢山職員の方が応援に行ったり、調査に行ったりしたそうです。また、東海大学のキャンパスが被害に遭った事もニュースで知りました。これらのことから、もし川崎に通学している際、震災がおきたら職員の方がどのように対応をとるのか、学生である私達がもし協力できる事があれば知りたいです。また、私事ですが、建築の技術職では、震災時の仕事にはどのようなものがあるのでしょうか。
4		<small>イツカ</small> 飯塚さん	生田駅周辺の交通事情について	踏切が閉じている時間が長い。踏切の閉じている時間が長く、開いている時間が短いため、信号無視をする人が発生している。また、交通渋滞の原因にもなっている。踏切の開閉による足止めは、予期せぬ大学講義への遅刻にもつながっており、学生の悩みの原因となっている。
5		<small>ワカバ</small> 若色さん	読売ランド前駅周辺のベンチの設置	読売ランド前駅から日本女子大学へ向かう道の途中にあるバス停前にはいつもバスを待つ人の列ができていますが、座れるところがなく、年配の方たちが地べたに座りこんでバスを待っている姿を見かけることが多いです。そこで、このバス停のように人が集まるけど座る場所がないという所にベンチを提供できたら、より住みやすいまちになるのではと感じました。

No	分野	お名前	テーマ	意見・提案内容
6	地域連携	サカイ 酒井さん	地域と大学の関わりについて	川崎市多摩区には3つの大学がありますが、大学同市の関わりや大学と地域の関わりは薄いと感じています。多摩区では区民祭やまちづくりに関するイベントなど、毎月地域イベントが行われていると思います。そうした地域のイベントに大学生が協力できるようにしてあげると、よりこのまちの活性化につながり、また学生にとっても地域と積極的に関わることができる機会になるのではないかと思います。
7		クロヤマ 黒沼さん	大学周辺の活性化について	現在、明治大学周辺には、あまり食事をするお店がありません。そのため、明治大学生は日頃、昼食や夕食を食堂またはコンビニで済ませてしまい、大学生活での食事に飽きてしまっています。また、大学は坂の上にあるため、駅周辺のお店に行くのには非常に面倒です。そのため、大学生活での食事の楽しみをつくるためにも、大学周辺（坂の上）の地域活性化が進めば良いと思います。
8	子ども・子育て	オオサコ 大迫さん	こども行政について	私は、こども行政について提案したいと思います。現在川崎市でも他の市と同様に少子化が進行していくことが予想されており、対策が必要だと考えました。具体的には育児休暇を取りやすくすることを提案します。例えば、1年まるまる休むのではなく、週に2日間は働き、5日間は休暇や夫婦で別々の日に休暇を取れるようにするなどの方法が考えられます。また、この休暇制度を広く知っていただくために、ホームページやSNSでの告知、育児休暇に関する講習会を開きます。講習会への参加を証明すると休暇がもらえるなどの特典を付けて参加率を上げます。そして育児休暇を取った人には優遇措置を取ることで自ら取りたくなるような制度としていきます。是非、ご検討ください。
9		コンドウ 近藤さん	公園・小さな遊び場の提供	（日本女子大学周辺）住宅地が密集している反面、公園や小さな遊び場といった場が少ないと感じました。公園や遊び場が増えれば、学生だけでなく住民の方々との交流の場になるのではと考えました。
10	選挙参加	カワサキ 河崎さん	若い人が選挙に参加するためには	私は川崎市でもっと活発に若い人を選挙と関わらせる必要があると思います。私は今年の6、7月に川崎市麻生区で参議院議員選挙のインターンシップを行いました。当初、インターンシップを実施する前は初めての選挙ということもあり、選挙についての知識はほとんどなく、投票することの大切さを理解していませんでした。しかし、実際に働いてみることでできました。投票所で受付をされている方の中には若い人が少なく、若い人達からすれば入りにくい空間になっていたり、啓発活動なども年齢の差が大きいためにどうしても若い人と距離が開いてしまっているように感じました。だから私はインターンシップやアルバイトなどを通じて、学生が主体となれる選挙が必要だと思います。